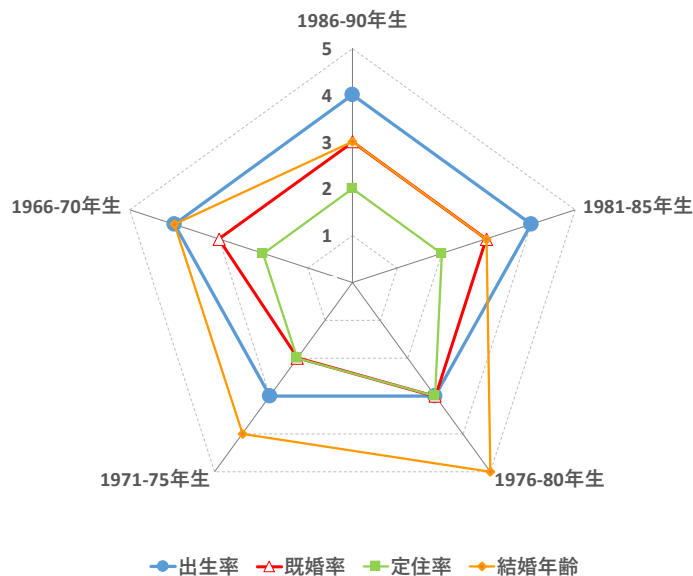


(10) 村上市

①出生に関する総合評価

図10-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

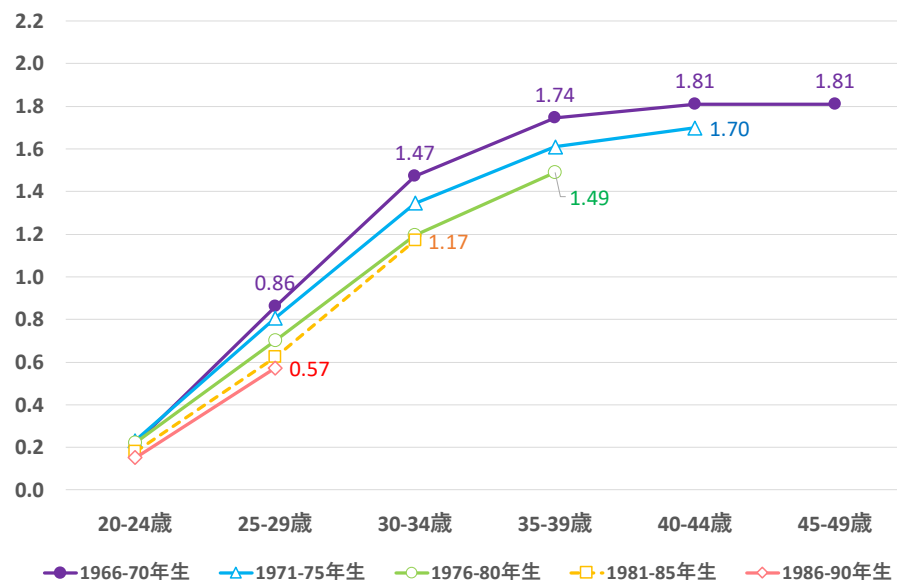
1. 合計出生率は、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは上位であるが、1971-75年生まれと1976-80年生まれは中位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1971-75年生まれは下位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは下位であるが、1976-80年生まれは中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれと1971-75年生まれは上位、1976-80年生まれは最上位、1981-85年生まれと1986-90年生まれは中位である。

【総合評価】

1. 村上市では、ほとんどのコホートで女性定住率が下位、既婚率が中位に属している一方で、結婚年齢は上位に属している。合計出生率は1970年代生まれが中位に位置していたが、80年代生まれでは上位になった。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1976-80年生まれから1人を下回っているが、1981-85年生まれでも0.99人と1人をわずかに下回る水準を維持している。しかし、25-29歳の出生率は一貫して減少傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度であるかに依存する。
3. 25-29歳の女性定住率は、1970年生まれコホートまでは0-4歳時点の60%を維持していたが、1980年代生まれは50%台に低下しており、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

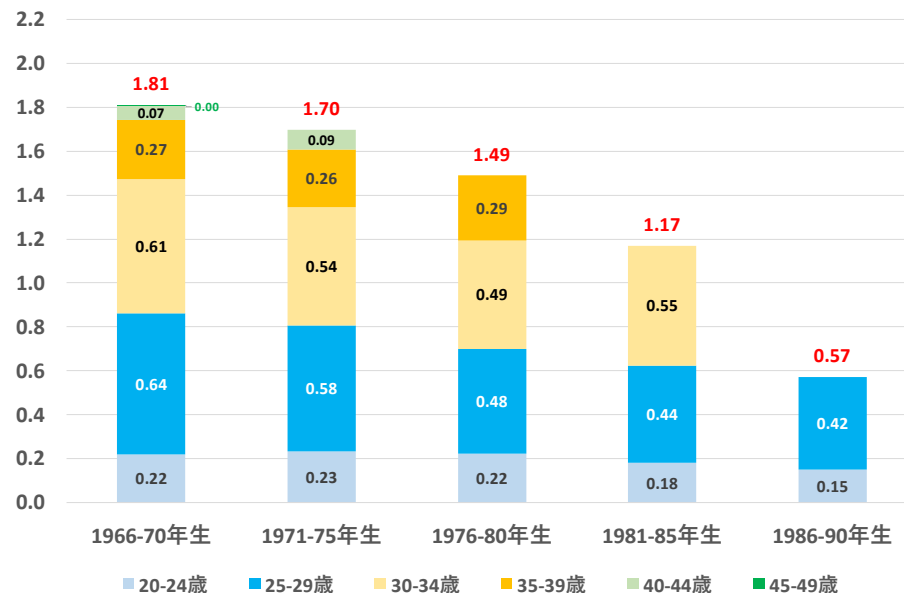
図 10-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 10-2 は、村上市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれ以降のコホートではさらに 25-29 歳の合計出生率が低下している。

図 10-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

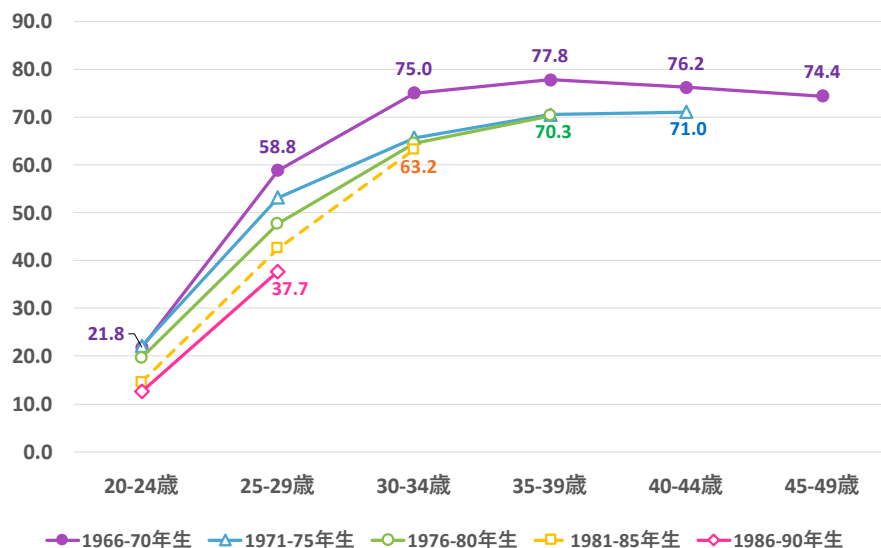


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 10-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.86 人に対して、1986-90 年生まれは 0.57 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.88 人に対して、1976-80 年生まれは 0.78 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、1966-70 年生まれから 30 歳代でも 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.99 人である。

③コホート別既婚率

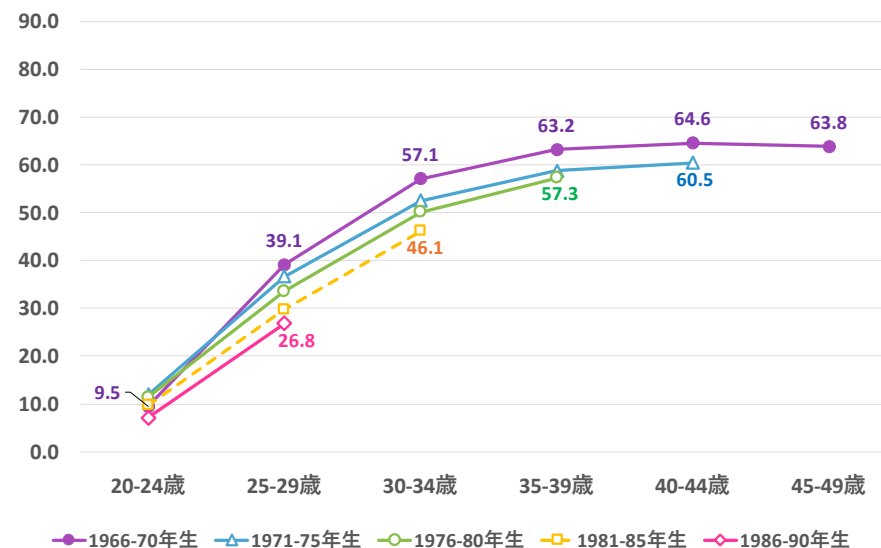
図 10-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 10-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳時点の大きな低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 58.8%から 1986-90 年生まれは 37.7%へと 21.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 77.8%から 1976-80 年生まれは 70.3%に 7.5 ポイント低下している。

図 10-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

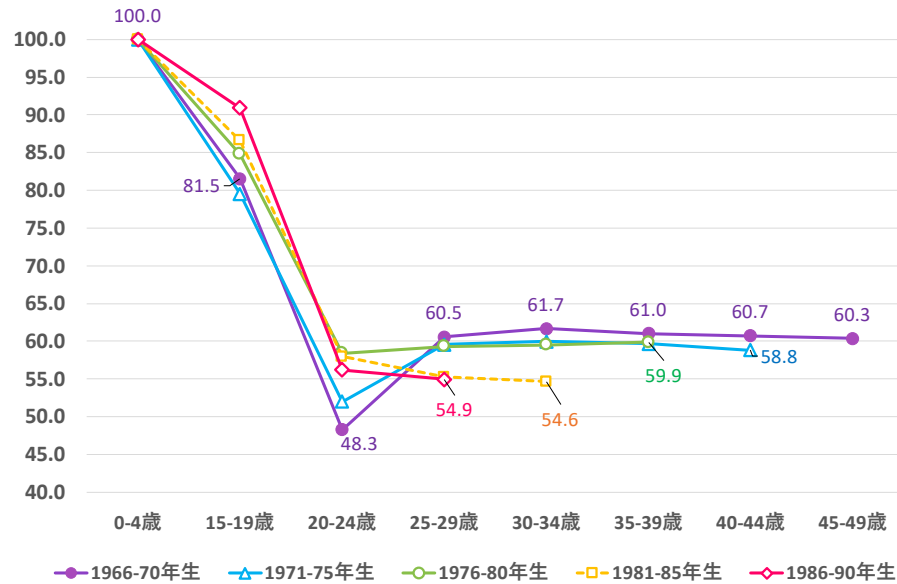


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 10-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 39.1%から 1986-90 年生まれは 26.8%へと 12.3 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 63.2%から 1976-80 年生まれは 57.3%に 5.9 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半に達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 10-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

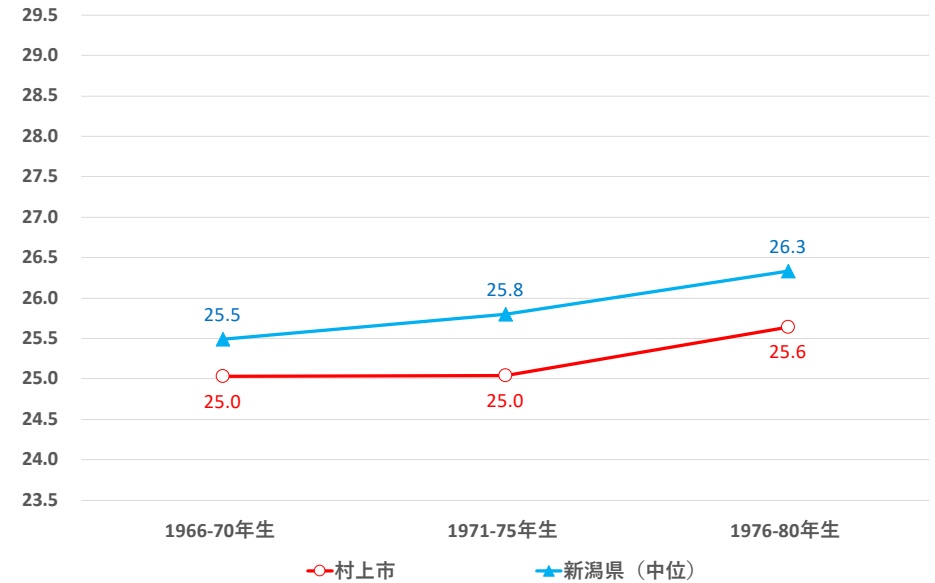


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 10-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの60.5から1986-90年生まれは54.9に5.6ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの61.0から1976-80年生まれは59.9に1.1ポイント減少している。
- ・ 小千谷市では、25-39歳時でみると、1976-80年生まれ以前は0-4歳時点の60%前後を維持していたが、1981-85年生まれ以降は50%台半ばに低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 10-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

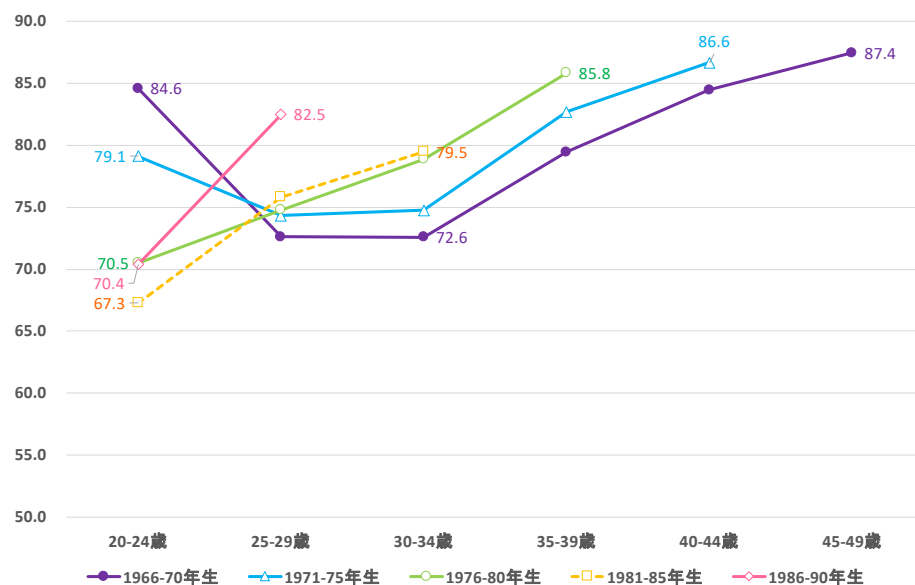


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 10-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.0歳、25.0歳、25.6歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.6歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は7位、1971-75年生の県内順位は4位、1976-80年生は4位と平均結婚年齢が県内で最も早い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 10-8 コホート別女性就業率 単位：%

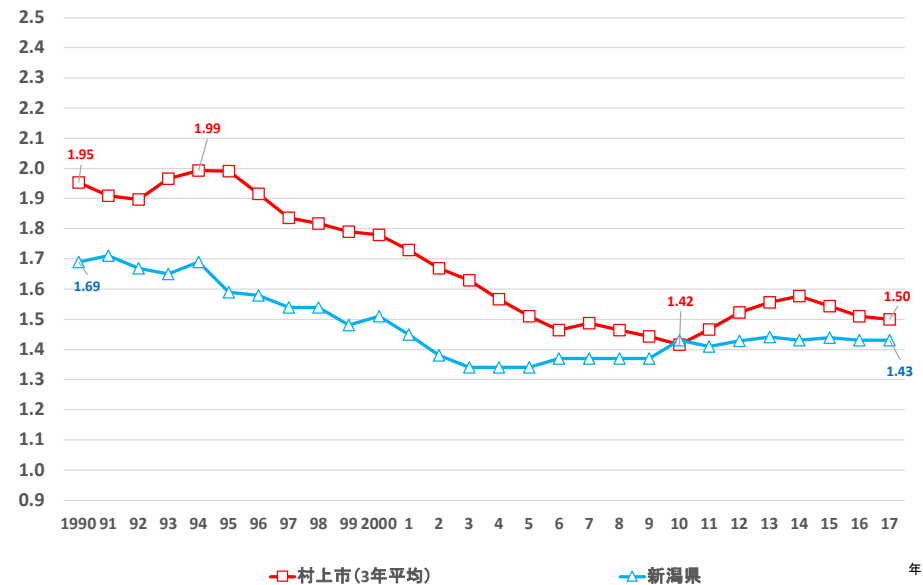


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 10-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 72.6%であったのに対して、1981-85 年生まれは 79.5%に上昇している。
- ・ 1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 10-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 10-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と村上市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、村上市の期間合計特殊出生率は 2010 年を除き、新潟県平均より高く、期間平均は 0.20 ポイント高い。
- ・ 村上市の期間合計特殊出生率は、1994-95 年の 1.99 をピークに低下してきたが、2010 年の 1.42 を底に 2014 年には 1.58 まで改善したが、2017 年には 1.50 に低下している。